

室内の消臭に関するお問い合わせ

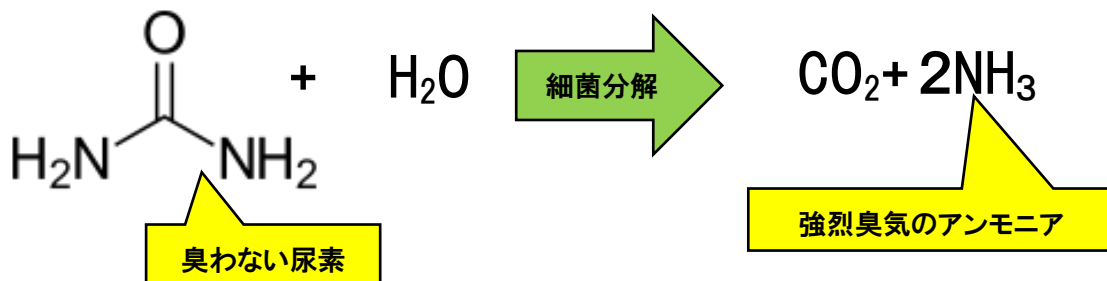
Q.以前より入居者の入れ替わり時に、リフォームで壁紙や床のビニール CF シートの貼り替え、清掃をしておりますが、生活臭が残る場合が有り、消臭の対応に苦勞しております。臭いの種類としましては、カビ臭・食べ物・の習慣で外国籍の方の食生活の違いによる臭い・タバコ臭・女性の方の香水系の臭い等が主になっております。このような部屋の臭いを消す方法はあるでしょうか???

A. もちろんファブリーズで解決できればそれでけっこうです。光触媒まで使っていたら必要ありませんが……

根本的なご説明で恐縮ですが臭いの発生源には大きく2種類あります。

1. 臭気物質そのもの
2. 臭気を発生させるばい菌の活動

これらを混同した製品が光触媒も含めて世の中に氾濫しておりますが嘆かわしいことです。1はタバコ臭や香水臭、調理臭、排せつの直後の臭気が含まれます。2はカビ臭やファブリックに染み付いた体臭、排泄のなかでも小便臭が相当します。尿の成分である尿素は排せつ直後には無臭ですが、ばい菌による分解を受けてアンモニアを発生します。



これと同様に、たとえば汗臭い体臭や靴下の臭いはばい菌が代謝された汗や皮脂のアミノ酸を分解して発生させるのですぐに臭うわけではないです。

光触媒は**1. 臭気物質を直接分解することにはそこそこ対応可能ですが2. ばい菌の活動を止めることにはそのままでは無力で、別途殺菌成分が必要です。**当社の場合はこれに金属銅・銀微粒子を採用して対処しています。

ご指摘の物件の臭気はカビ臭以外どちらに属するものか断じかねますがどちらにも対応でき、しかもそれほど高価にならない方法として**以下の3つの方法をご提案します。**

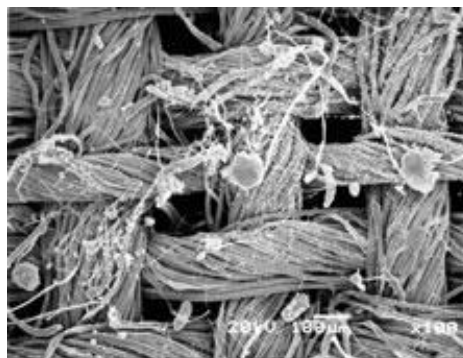
3. 光触媒の塗布は壁面、床面だけでなくカーテンのようなファブリックにも行う

ファブリックは表面積が一般壁面の数十倍はありますので有効な光触媒の担持体になります。光触媒は室内型といえどもやはり太陽光にまさる強力な光源はなく、少しでも太陽光にあたる部位に多め

Chemical Technology

に塗布するのが効果的です。

光触媒の消臭はまず吸着プロセスから始まりますので吸着表面積の大きな繊維の表面に塗布することで大きな相乗作用が期待できます。



4. 押し入れの中、キッチンの下、トイレの背後等光の当たらない箇所にも暗所用を塗布する。

これは光触媒ではありませんが殺菌機能のみ強化しておりますので臭気を発生させるばい菌やカビの駆除に役立っています。光触媒のサブメニューとして製品化しておりますが現実にはエアコンのフィルターやラジエーターに塗布してカビ臭の予防に使っていただいている例も多くあります。

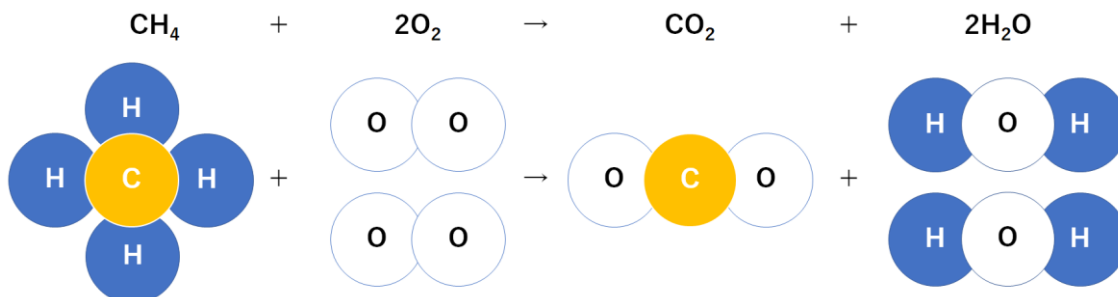
これは光触媒ではありませんから直接臭気物質を潰す能力はありませんが、エアコン稼働時の臭気は臭気そのものではなくばい菌の活動のなれの果てがほとんどですので意外は効果を発揮します。



5. とときき加湿する

光触媒は名前から判断して光しかいらないと誤解している方が多いのですが光のエネルギーで水を分解する反応ですので水分も絶対に必要です。とくに空中を舞う臭気ガスを捕捉するには加湿器等の稼働が有効です。

クロスを張り替えた直後のシックハウス臭を除去するためにはガスファンヒーターの稼働が効果的でした。1時間以内にはなくなりました。ガスファンヒーターは強力かつ効果的な加湿器です。



※天然ガスの主成分であるメタンは燃焼により水分 H_2O をじゃんじゃん発生し、しかも加熱されたその水分は部屋にくまなく行き渡りますので光触媒との反応性を考えれば理想的な加湿器と見なせます。